

競 技 上 の 注 意

1. 本大会は2022年（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. 本競技会に参加するに当たり下記に示す提出物を必ず提出すること。
必要な書類の提出がない場合は出場が認められなくなります。
 - (1) 様式1「健康チェックシート」、様式2-2「【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を来場初日に送付書付きで各校まとめて受付に提出（原則として朝のうちに）する。（両面印刷）
 - (2) 大会参加2日目から大会終了後2週間の体調を記録し、様式3「【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を各校顧問に提出する。各校顧問は必要に応じ提出できるよう保管しておく。大会期間中の生徒の体調は各校顧問で確認し、健康チェックシートにチェックがつかない生徒は各校顧問の責任の下大会参加を見合わせる事。
3. 招集について
 - (1) 招集では、競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し、掲示されたエリアで待ち、競技者係より胸背部のアスリートビブス（※ナンバーカード。以下すべてアスリートビブス）と腰ナンバー標識、スパイク、シューズ（本大会はWA競技規則TR 5を適用する。100m～400m、100mH、110mH、400mHはソールの最大の厚さが20mmを超えるシューズは使用できない。800m以上は、ソールの最大の厚さが25mm（※5000mWは40mm）を超えるシューズは使用できない。トラック競技出場者は招集の際申し出て、事前に検定を受けることができる。）の確認を受けた後、競技者係の誘導に従って競技場内に入場する。
棒高跳の招集は現地で行う。プログラム記載の招集時間に現地に集合すること。
 - (2) 長距離競走出場（3000m、5000m、5000mW）の競技者へは、招集時に胸用の特別アスリートビブスを配布する。安全ピンは各校で準備すること。背中のアスリートビブスは各自のものをつけること。また、腰ナンバー標識（10番以降）を招集時に係より受け取り、退場の際、招集所に返却すること。
 - (3) 招集は、代理人は認めない。
 - (4) 競技を棄権する場合には「棄権届」を招集所競技者係に提出する。招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなす。
4. 競技者の変更は認めない。
5. アスリートビブス、腰ナンバー標識は各校で準備し、トラック種目出場者は胸背部と腰部（右腰後方）につける。フィールド種目出場者は胸背部（跳躍競技は胸部・背部のみでもよい）につける。
6. 棒高跳ポール以外は、競技場備えつけの用具を使用する。ただし、やり（男女）の持ち込みについては、8:30～9:00に本部にて検定を行う。
7. トラック種目において、同タイムの場合は1/1000秒単位をもって判定する。
8. 5000mWは、制限時間を設ける。41分30秒までに最終周に入れなかった場合は、レースを中止させる。
〈途中棄権扱いとする〉

9. 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

10. ゴミ処理について

ゴミは、各自で必ず持ち帰ること。

11. 跳躍競技の男子1年走幅跳と男子・女子共通走幅跳、男子共通三段跳は2ピットで行う。

12. バーのあげ方

			練習	1	2	3	4	5	6	7
男子	共通	走高跳	1m60 1m80 1m90	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88 以後 3cm ずつ
	共通	棒高跳	2m90 3m70 4m00	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	3m90	4m00 以後 10cm ずつ
女子	共通	走高跳	1m30 1m45 1m55	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61 以後 3cm ずつ
	共通	棒高跳	1m70 2m60	1m80	2m00	2m20	2m40	2m50	2m60	2m70 以後 10cm ずつ

13. 計測ライン（天候等の状況により変更することがある。）

		走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	1年	5m00	/	/	20m00	/	/
	共通	5m60	10m00	8m50	25m00	25m00	30m00
女子	1年	/	/	/	なし	/	/
	共通	4m30	8m00	なし	17m00	なし	20m00

14. 表彰式は実施しない。入賞した学校の顧問は、競技終了後、本部まで賞状を取りに来ること。

15. ハードル補助員（1校 3名とする）

1台目 佐和 2台目 水戸葵陵 3台目 土浦日大 4台目 牛久栄進 5台目 古河一
6台目 古河中等 7台目 並木中等 8台目 下館一 9台目 境 10台目 つくば秀英

16. 競技者・補助員以外の競技場内への立ち入り禁止とする。

17. プログラムの氏名・アスリートビブスなどに訂正がある場合は、招集所で行うこと。

18. 助力については、WA競技規則TR 6条に従う。なお、スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像の確認は認めない。（コーチエリアを利用すること）

19. 応援について

感染症拡大防止の観点から次のように規制します。

- (1) 競技場には関係者（選手、競技役員、補助員、選手の保護者等）のみ入場（入場の際は、必要な様式を提出すること。）することができ、その他無観客とする。
- (2) 声を出しての応援は禁止とする。（拍手等の応援のみ）

練習会場での注意事項

1. 練習は各校監督のもと、事故防止に十分配慮すること。
2. 補助競技場では危険が伴うので、十分注意して行うこと。
3. 補助競技場等のウォームアップエリアへは混雑を回避（密を防ぐ）するために付添等は入らないこと。
4. 補助競技場の使用レーンについては次の通りとする。
1～2 レーン：中・長距離 3～6 レーン：短距離 7～8 レーン：ハードル
5. 補助競技場の使用については16：00をもって終了する。
6. 投てき場での投てき物を使った練習は禁止とする。投てき場の使用はw-upのみとする。投てき種目の競技が終了次第、投てき場は施錠する。